



平成25年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



平成25年5月13日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ナンシン

コード番号 7399 URL <http://www.nansin.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 齋藤 彰則

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 大久保 浩司

TEL 03-6892-3017

定時株主総会開催予定日 平成25年6月27日

配当支払開始予定日

平成25年6月28日

有価証券報告書提出予定日 平成25年6月28日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期の連結業績(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期	8,347	3.0	983	△19.0	997	△21.0	679	△41.4
24年3月期	8,105	9.0	1,215	137.1	1,262	187.3	1,158	160.1

(注) 包括利益 25年3月期 805百万円 (△31.6%) 24年3月期 1,176百万円 (114.6%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
25年3月期	88.55	—	10.0	8.1	11.8
24年3月期	151.05	—	19.7	10.3	15.0

(参考) 持分法投資損益 25年3月期 ー百万円 24年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期	12,469	7,137	57.2	930.55
24年3月期	12,248	6,440	52.6	839.46

(参考) 自己資本 25年3月期 7,137百万円 24年3月期 6,440百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
25年3月期	1,103	△133	△910	712
24年3月期	921	△95	△1,047	633

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
24年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00	107	9.3	1.8
25年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00	76	11.2	1.1
26年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00		16.0	

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,200	4.5	250	△48.5	560	2.8	340	△5.5	44.32
通期	8,800	5.4	550	△44.1	820	△17.8	480	△29.3	62.57

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

25年3月期	7,708,000 株	24年3月期	7,708,000 株
25年3月期	37,640 株	24年3月期	35,740 株
25年3月期	7,671,429 株	24年3月期	7,672,547 株

(参考)個別業績の概要

1. 平成25年3月期の個別業績(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期	7,851	2.8	612	△34.4	790	△26.6	532	△49.4
24年3月期	7,640	8.7	933	131.8	1,077	140.6	1,052	77.9

	1株当たり当期純利益		潜在株式調整後1株当たり当期純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	69.48	—	—	—
24年3月期	137.20	—	—	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
25年3月期	12,041	6,864	6,864	57.0	894.92			
24年3月期	12,283	6,401	6,401	52.1	834.41			

(参考) 自己資本 25年3月期 6,864百万円 24年3月期 6,401百万円

2. 平成26年3月期の個別業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	3,890	2.8	290	△14.1	785	58.7	480	44.8	62.57
通期	8,200	4.4	600	△2.0	935	18.2	570	6.9	74.30

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、財務諸表に対する監査手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「経営成績に関する分析」をご覧ください。

○ 添付資料の目次	
1. 経営成績・財政状態に関する分析	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
(4) 事業等のリスク	5
2. 企業集団の状況	6
3. 経営方針	7
(1) 会社の経営の基本方針	7
(2) 目標とする経営指標	7
(3) 中期的な会社の経営戦略と対処すべき課題	7
4. 連結財務諸表	8
(1) 連結貸借対照表	8
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	10
連結損益計算書	10
連結包括利益計算書	11
(3) 連結株主資本等変動計算書	12
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	14
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	16
(継続企業の前提に関する注記)	16
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	16
(会計方針の変更)	17
(セグメント情報等)	18
(1株当たり情報)	23
(重要な後発事象)	24
5. その他	24
(1) 役員の異動	24
(2) その他	24

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

①当期の経営成績

当連結会計年度におけるわが国経済は、復興需要や政策効果等により内需を中心に緩やかな回復傾向にあるところ、昨年末からは円安・株高に転じるなど景気回復に勢いが出てきました。しかしながら一方で、中国など新興国経済の減速や急激な円安進行に伴う輸入物価の上昇が懸念され、予断を許さない状況にあります。

当社グループが属する業界におきましても、産業の空洞化が進む中、主要な取引先である機械工具業界や物流業界からの受注に今ひとつ力強さが感じられません。

こうした状況の下、当社グループは、生産の海外シフト等による更なる原価低減に努め、経営体質の充実強化に注力してまいりました。

その結果、当連結会計年度の売上高は、医療・介護向キャスターや物流機器の伸長により 8,347,424 千円（前年同期比 3.0%増）、営業利益は人件費等販管費の増加により 983,712 千円（前年同期比 19.0%減）、経常利益は 997,140 千円（前年同期比 21.0%減）、当期純利益は 679,269 千円（前年同期比 41.4%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

○日本

売上高は、7,851,340 千円（前年同期比 2.8%増）、セグメント利益（営業利益）は、売上原価や販管費の増加により 709,929 千円（前年同期比 24.0%減）となりました。

○マレーシア

売上高は、1,879,097 千円（前年同期比 3.8%増）、セグメント利益（営業利益）は、第4 四半期会計期間の円安進行に伴う製造原価の上昇等により 198,781 千円（前年同期比 17.7%減）となりました。

○中国

売上高は、生産シフトによる増収により 1,248,644 千円（前年同期比 30.6%増）、セグメント利益（営業利益）は、原材料価格の上昇や生産規模拡大に伴う固定費増があったものの増収効果により 87,821 千円（前年同期比 135.2%増）となりました。

②今後の見通し

今後の見通しにつきましては、金融・財政政策による国内景気の本格化や米国向等外需が期待される一方で、円安に伴う原材料等輸入物価の高騰が懸念され、わが国経済の先行きは、依然不透明な要素が残されております。

また、当社グループが属する業界においても、これに加え、需要構造の変化や価格競争の更なる激化が予想され、今後とも厳しい経営環境が続くものと思われまます。

こうした認識の下、当社グループでは、更なる原価の低減と製品開発力の強化に一層努めてまいります。

具体的には、生産の海外シフトを完成すると共に、千葉 NT 工場の司令塔機能を高め、グループ全体利益の最大化を図ります。また、医療・介護や防災分野を中心に新製品の開発を押し進め、併せて、次代を担う戦略製品の量産化に取り組んでまいります。

以上により、平成 26 年 3 月期の連結業績見通しにつきましては、売上高は 8,800 百万円（前年同期比 5.4%増）、営業利益は円安による売上原価の上昇等を織込み 550 百万円（前年同期比 44.1%減）、経常利益は英国子会社関連引当金の戻入により 820 百万円（前年同期比 17.8%減）、当期純利益は 480 百万円（前年同期比 29.3%減）を見込んでおります。

(2) 財政状態に関する分析

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて 10.4%増加し、6,556,701 千円となりました。これは主に、現金及び預金が 374,572 千円増加したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて 6.3%減少し、5,912,501 千円となりました。これは主に、繰延税金資産が 331,116 千円減少したことによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて 1.8%増加し、12,469,202 千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて 15.8%減少し、3,050,321 千円となりました。これは主に、短期借入金が 698,480 千円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて 4.3%増加し、2,281,243 千円となりました。これは主に、役員退職慰労引当金が 84,895 千円増加したことによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて 8.2%減少し、5,331,565 千円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて 10.8%増加し、7,137,637 千円となりました。これは主に、利益剰余金が 571,857 千円増加したことによります。

この結果、自己資本比率は 57.2%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ 78,983 千円増加し、712,977 千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、1,103,370 千円（前年同期は 921,213 千円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益 985,230 千円及び減価償却費 294,442 千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、133,241千円（前年同期は95,073千円の減少）となりました。これは主に、定期預金の増加263,763千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は910,705千円（前年同期は1,047,668千円の減少）となりました。これは主に、短期借入金の減少700,000千円によるものであります。

なお、当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは、下記のとおりであります。

	平成21年 3月期	平成22年 3月期	平成23年 3月期	平成24年 3月期	平成25年 3月期
自己資本比率(%)	25.5	37.3	43.0	52.6	57.2
時価ベースの 自己資本比率(%)	9.2	10.9	9.6	32.3	37.7
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率(%)	—	307.7	679.0	243.5	134.7
インタレスト・カバレッジ・ レシオ(倍)	—	21.8	14.1	38.9	74.3

（注）自己資本比率：自己資本 / 総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額 / 総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債 / 営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー / 利払い

* 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

* 株式時価総額は、期末株価終値 × 期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。

* 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債(リース債務を除く)を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額及び社債利息の支払額を使用しております。

（3）利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主への利益還元を経営の最重要政策の一つと認識しております。すなわち、財務体質および経営基盤強化のため内部留保の充実に努めると共に、配当性向の維持向上を総合勘案し利益配分を決定する方針をとっております。

当期の業績は、上記（1）「経営成績に関する分析」に記載したとおり、厳しい経営環境下ではありますが、まずまずの業績を収めることができました。

つきましては、当期の配当は、普通配当10円を実施いたします。また、次期の配当につ

いても、円安による減益が見込まれるなど厳しい経営環境が続くものと思われませんが、引き続き普通配当 10 円を維持できるよう努力してまいります。

株主の皆様には、格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(4) 事業等のリスク

事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項には、以下のようなものがあります。

なお、文中の将来に関する事項は、当連結会計年度末現在において当社グループが判断したものであります。

①英国子会社 NSG GLOBAL LTD. に関する保証債務及び事業整理損失

同社は、英国キャスター事業からの撤退・整理の一環として 2001 年 11 月工場賃貸借契約の承継管理を目的として設立された NSG EUROPE LTD. から、2012 年 2 月当該整理事業を承継した新会社であります。

既報のとおり、前々期決算（平成 23 年 3 月期）において、以後発生する賃借料その他必要経費については、リース契約補償損失引当金及び事業整理損失引当金として全て引当金計上しました。従って、今後新たに保証債務（賃借料）及び事業整理損失（その他必要経費）が発生することはありません。

また、2013 年 7 月に更新期限が到来する転貸借契約については、概ね契約更新の方向で合意に至っており、ポンド為替の動向次第ではありますが、計上済の引当金が過剰となり戻入益が発生する見込みであります。

②不動産売買契約の債務不履行に伴う訴訟の提起

平成 23 年 12 月 26 日付「訴訟の提起に関するお知らせ」のとおり、ラサールインベストメントマネジメント株式会社を被告として、埼玉プロパティ―特定目的会社との間で締結した不動産売買契約に関し、違約金等請求訴訟を東京地方裁判所に提起しました。

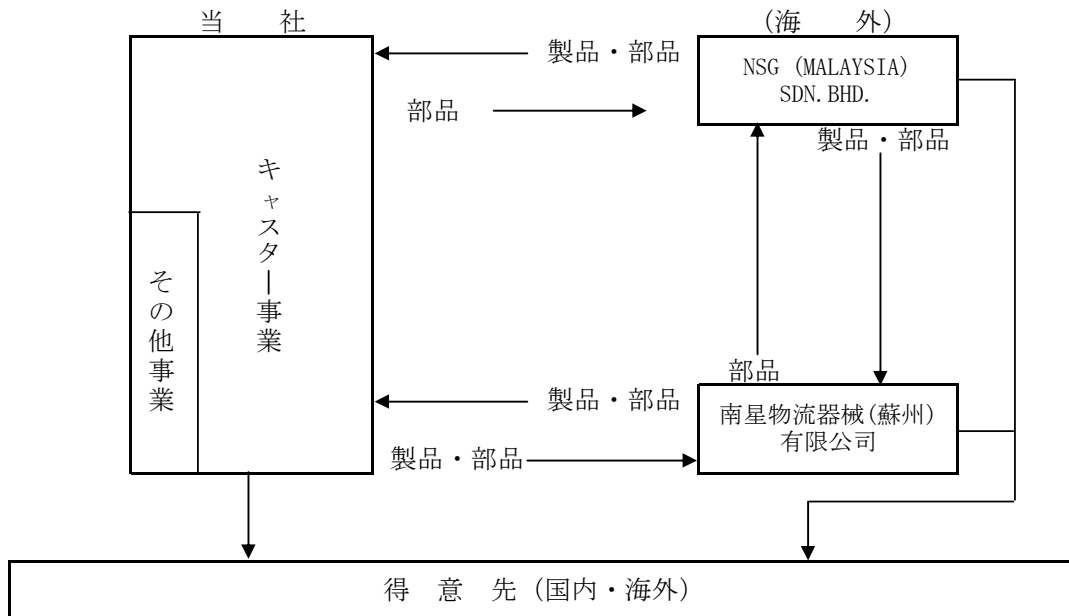
今後の見通しについては、現在係争中につき未確定であることから、今後事態の進展に応じて必要な事項をお知らせいたします。

2. 企業集団の状況

当社は、キャスター、台車等の製造及び販売を主要な事業とする会社で、当社を中核として周辺に以下の子会社を擁し、企業集団として事業を展開しております。
当グループに係る位置づけは以下のとおりであります。

区 分	会 社 名	所在地	主要製・商品	位置づけ	
				製造	販売
連結子会社	NSG (MALAYSIA) SDN. BHD.	マレーシア	キャスター	○	○
	南星物流器械(蘇州) 有限公司	中国	キャスター・台車	○	○
	NSG GLOBAL LTD.	イギリス	整理事業(不動産賃貸)		

事業の系統図は以下のとおりであります。



3. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針

当社グループは、「人づくり、製品（物）づくりを通して広く社会に貢献する」を経営理念とし、顧客満足度の向上と企業価値の創造により企業の社会的責任（CSR）を果たすことを経営の基本方針としております。

<経営理念の3本柱>

①社会から頼られる企業を目指します

- ・有用な製品やサービスの提供による顧客・消費者ならびに社会への貢献
- ・適正な利益獲得による株主・投資家・従業員への還元と納税
- ・法令や社会的規範の遵守（コンプライアンス）と積極的な情報開示
- ・環境や雇用問題への取組みと地域貢献・共生

②社会から求められる製品やサービスを提供します

- ・製造原価の低減による価格競争力の強化
- ・製品やサービスの品質向上による差別化・高付加価値化とクレームの削減
- ・物流および医療・介護等異分野における新製品の開発や新サービスの企画
- ・海外商品の調達と海外市場の開拓

③社会から愛される人材の育成に努めます

- ・顧客ニーズをつかむ情報感応度・商品知識・提案型セールス
- ・顧客の要望やクレームへの誠実で迅速な対応

(2) 目標とする経営指標

当社グループは、継続安定的な事業の拡大を通して企業価値と株主価値の増大を図るため、適正な利益の確保を最大の経営目標としております。そのために、

①売上高営業利益率

②総資産経常利益率（ROA）

③自己資本当期純利益率（ROE）

を目標とする経営指標とし、経営効率の向上に一層努めてまいります。

また、キャッシュ・フロー重視の経営を志向してまいります。

(3) 中長期的な会社の経営戦略と対処すべき課題

当社グループは、経営目標を達成するため、以下の施策を中心に推進してまいります。

①中国・アセアンなど海外売上の拡充と、キャスター・台車に続く新たな柱作り

②海外生産シフトの完成と、国内外の生産拠点の役割分担・連携強化

③ITを活用した、戦略的・効率的な業務運営（販売・製品開発手法等）の仕組み構築

④グローバルな事業展開を見据えた多様な人材の確保と計画的育成

4. 連結財務諸表
 (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当連結会計年度 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,450,085	1,824,658
受取手形及び売掛金	2,375,536	2,544,048
有価証券	199,920	—
商品及び製品	894,446	932,151
仕掛品	306,741	322,818
原材料及び貯蔵品	511,537	580,038
未収還付法人税等	6,366	13,476
繰延税金資産	46,934	228,318
その他	152,228	113,603
貸倒引当金	△2,669	△2,413
流動資産合計	5,941,129	6,556,701
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,526,229	2,448,087
機械装置及び運搬具（純額）	265,261	234,877
土地	2,291,277	2,291,277
リース資産（純額）	36,917	33,130
建設仮勘定	5,958	7,631
その他（純額）	61,542	64,364
有形固定資産合計	5,187,187	5,079,369
無形固定資産		
借地権	86,126	92,434
ソフトウェア	72,720	49,000
リース資産	70,015	46,492
その他	23,614	24,711
無形固定資産合計	252,477	212,639
投資その他の資産		
投資有価証券	226,346	300,312
繰延税金資産	331,116	—
投資不動産	88,486	85,526
その他	236,572	241,037
貸倒引当金	△14,460	△6,384
投資その他の資産合計	868,060	620,492
固定資産合計	6,307,726	5,912,501
資産合計	12,248,855	12,469,202

(株)ナンシン (7399) 平成25年3月期 決算短信

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当連結会計年度 (平成25年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,094,829	1,134,144
短期借入金	2,111,693	1,413,213
1年内返済予定の長期借入金	58,500	48,600
リース債務	37,321	38,433
未払法人税等	31,221	73,583
賞与引当金	45,894	48,205
役員賞与引当金	6,400	8,300
その他	235,020	285,842
流動負債合計	3,620,880	3,050,321
固定負債		
長期借入金	72,750	24,150
退職給付引当金	242,987	253,148
リース債務	70,295	41,941
繰延税金負債	—	49,983
役員退職慰労引当金	415,850	500,745
リース契約補償損失引当金	1,103,678	1,126,645
資産除去債務	18,734	32,095
事業整理損失引当金	239,118	225,939
その他	24,038	26,594
固定負債合計	2,187,452	2,281,243
負債合計	5,808,332	5,331,565
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,696,500	1,696,500
資本剰余金	1,542,759	1,542,759
利益剰余金	3,245,880	3,817,737
自己株式	△9,421	△10,259
株主資本合計	6,475,717	7,046,737
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,262	60,042
為替換算調整勘定	△57,457	30,857
その他の包括利益累計額合計	△35,194	90,900
純資産合計	6,440,522	7,137,637
負債純資産合計	12,248,855	12,469,202

(株)ナンシン (7399) 平成25年3月期 決算短信

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
売上高	8,105,401	8,347,424
売上原価	5,479,567	5,746,875
売上総利益	2,625,834	2,600,548
販売費及び一般管理費	1,410,648	1,616,835
営業利益	1,215,186	983,712
営業外収益		
受取利息及び配当金	9,546	13,143
受取賃貸料	38,697	38,663
物品売却益	19,383	22,958
助成金収入	30,382	29,515
その他	7,607	12,142
営業外収益合計	105,617	116,423
営業外費用		
支払利息	24,260	15,243
賃貸収入原価	7,505	7,390
為替差損	10,302	47,250
売上割引	10,605	10,519
その他	5,452	22,592
営業外費用合計	58,126	102,995
経常利益	1,262,677	997,140
特別利益		
固定資産売却益	7,443	18,793
違約金収入	10,000	—
その他	1,860	1,209
特別利益合計	19,303	20,003
特別損失		
固定資産除売却損	728	3,077
本社移転費用	—	28,589
事業整理損	4,689	—
その他	5,948	246
特別損失合計	11,366	31,913
税金等調整前当期純利益	1,270,614	985,230
法人税、住民税及び事業税	79,327	128,863
法人税等調整額	32,354	177,098
法人税等合計	111,681	305,961
少数株主損益調整前当期純利益	1,158,933	679,269
当期純利益	1,158,933	679,269

(株)ナンシン (7399) 平成25年3月期 決算短信

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
少数株主損益調整前当期純利益	1,158,933	679,269
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,362	37,780
為替換算調整勘定	11,630	88,314
その他の包括利益合計	17,992	126,095
包括利益	1,176,925	805,364
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,176,925	805,364
少数株主に係る包括利益	—	—

(株)ナンシン (7399) 平成25年3月期 決算短信

(3) 連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
株主資本		
資本金		
当期首残高	1,696,500	1,696,500
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	1,696,500	1,696,500
資本剰余金		
当期首残高	1,542,759	1,542,759
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	1,542,759	1,542,759
利益剰余金		
当期首残高	2,136,227	3,245,880
当期変動額		
剰余金の配当	△38,363	△107,411
連結子会社の増減に伴う利益剰余金減少高	△10,916	—
当期純利益	1,158,933	679,269
当期変動額合計	1,109,652	571,857
当期末残高	3,245,880	3,817,737
自己株式		
当期首残高	△9,309	△9,421
当期変動額		
自己株式の取得	△112	△837
当期変動額合計	△112	△837
当期末残高	△9,421	△10,259
株主資本合計		
当期首残高	5,366,176	6,475,717
当期変動額		
剰余金の配当	△38,363	△107,411
連結子会社の増減に伴う利益剰余金減少高	△10,916	—
当期純利益	1,158,933	679,269
自己株式の取得	△112	△837
当期変動額合計	1,109,540	571,020
当期末残高	6,475,717	7,046,737

(株)ナンシン (7399) 平成25年3月期 決算短信

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金		
当期首残高	15,899	22,262
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	6,362	37,780
当期変動額合計	6,362	37,780
当期末残高	22,262	60,042
為替換算調整勘定		
当期首残高	△69,087	△57,457
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	11,630	88,314
当期変動額合計	11,630	88,314
当期末残高	△57,457	30,857
その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△53,187	△35,194
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	17,992	126,095
当期変動額合計	17,992	126,095
当期末残高	△35,194	90,900
純資産合計		
当期首残高	5,312,989	6,440,522
当期変動額		
剰余金の配当	△38,363	△107,411
連結子会社の増減に伴う利益剰余金減少高	△10,916	—
当期純利益	1,158,933	679,269
自己株式の取得	△112	△837
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	17,992	126,095
当期変動額合計	1,127,533	697,115
当期末残高	6,440,522	7,137,637

(株)ナンシン (7399) 平成25年3月期 決算短信

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,270,614	985,230
減価償却費	303,908	294,442
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	340	△716
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6,210	2,311
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,400	1,900
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△58,196	10,161
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△60,765	84,895
受取利息及び受取配当金	△9,546	△13,143
支払利息	24,260	15,243
為替差損益 (△は益)	△17,363	39,346
有形固定資産売却損益 (△は益)	△7,372	△13,944
有形固定資産除却損	657	2,100
無形固定資産売却損益 (△は益)	—	△4,849
無形固定資産除却損	—	976
売上債権の増減額 (△は増加)	△291,713	△172,835
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△116,985	29,656
仕入債務の増減額 (△は減少)	21,386	7,522
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	9
未払消費税等の増減額 (△は減少)	8,697	△13,144
移転費用	—	28,589
補助金収入	△30,382	△29,515
その他	67,279	40,856
小計	1,105,009	1,295,093
利息及び配当金の受取額	7,735	12,197
利息の支払額	△23,654	△14,850
移転費用の支払額	—	△28,589
補助金の受取額	31,410	31,772
リース損失支払額	△110,700	△69,828
事業整理損失支払額	△38,512	△32,524
法人税等の支払額	△59,433	△89,898
法人税等の還付額	9,358	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	921,213	1,103,370

(株)ナンシン (7399) 平成25年3月期 決算短信

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△809,832	△1,079,778
定期預金の払戻による収入	604,528	816,014
有価証券の取得による支出	△199,920	—
有価証券の売却による収入	299,817	199,920
有形固定資産の取得による支出	△16,792	△50,792
有形固定資産の売却による収入	45,942	16,464
無形固定資産の売却による収入	—	7,542
投資有価証券の取得による支出	—	△14,100
投資有価証券の売却による収入	—	1,071
その他	△18,816	△29,584
投資活動によるキャッシュ・フロー	△95,073	△133,241
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△838,249	△700,000
長期借入金の返済による支出	△124,200	△58,500
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△46,849	△44,126
配当金の支払額	△38,256	△107,240
自己株式の取得による支出	△112	△837
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,047,668	△910,705
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,223	19,558
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△219,305	78,983
現金及び現金同等物の期首残高	855,158	633,994
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△1,859	—
現金及び現金同等物の期末残高	633,994	712,977

(5)連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1. 連結の範囲に関する事項

すべての子会社を連結しております。

連結子会社数・・・・・・・・・・3社

NSG (MALAYSIA) SDN. BHD.

南星物流器械(蘇州)有限公司

NSG GLOBAL LTD.

2. 持分法の適用に関する事項

関連会社及び非連結子会社は、ありません。

3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社のうち、南星物流器械(蘇州)有限公司の決算日は、12月31日であります。その他の連結子会社は、連結会計年度と同一であります。

4. 会計処理基準に関する事項

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

① たな卸資産の評価基準及び評価方法

主として総平均法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)

② 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

時価のあるもの 決算期末日の市場価格等に基づく時価法

(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)

時価のないもの 移動平均法による原価法

③ デリバティブの評価基準及び評価方法 時価法

(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

① 有形固定資産(リース資産を除く) 定額法

② 無形固定資産(リース資産を除く) 定額法

③ リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数として、残存価額をゼロとする定額法によっております。

なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が平成20年3月31日以前のものについては、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

④ 投資不動産 定額法

(3) 重要な引当金の計上基準

① 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率法により、貸倒懸念債権等については、財務内容評価法によって計上しております。

② 賞与引当金

従業員の賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当連結会計年度に対応する金額を計上しております。

③ 役員賞与引当金

役員に対して支給する賞与に充てるため、当連結会計年度に見合う支給見込額に基づき計上しております。

④ 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当連結会計年度末における自己都合による期末要支給額を計上しております。

⑤ 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支出に備えるため、役員退職慰労金規程に基づく当連結会計年度末要支給額を計上しております。

⑥ リース契約補償損失引当金

連結子会社 NSG GLOBAL LTD. の英国での不動産リース債務(契約期限平成 32 年 12 月 31 日)について、英国の不動産需給状況を勘案して、リース資産の転貸等による適切な収入を得られない場合の当社グループが負担する損失に備え、当連結会計年度末におけるオペレーティング・リース債務残高に対し必要額を計上しております。

⑦ 事業整理損失引当金

関係会社の整理に伴う損失に備えるため、当社が負担することとなる損失見込額を計上しております。

(4) 重要なヘッジ会計の方法

該当事項はありません。

(5) 消費税の会計処理

税抜方式によっております。

5. 連結子会社の資産及び負債の評価に関する事項

全面時価評価法によっております。

6. 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金、要求払預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に満期日の到来する短期的な投資からなっております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、同グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主にキャスター・台車等を生産・販売しております。国内においては当社が、海外においてはアジア・北中米・ヨーロッパの各地域を、当社とマレーシア・中国の現地法人がそれぞれ担当しております。現地法人は、当社の100%連結子会社として、当社の策定する経営方針や戦略の下で生産と販売を分担し、相互に連携をとりながら事業活動を展開しております。

従って、当社グループは、生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」「マレーシア」「中国」の3つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債、その他の項目の金額の算定方法

報告されている地域別セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	マレーシア	中国	
売上高				
外部顧客への売上高	7,631,646	94,794	378,960	8,105,401
セグメント間の内部売上高又は振替高	9,226	1,716,158	577,265	2,302,649
計	7,640,872	1,810,952	956,225	10,408,051
セグメント利益	933,866	241,645	37,331	1,212,843
セグメント資産	10,893,344	1,675,774	459,053	13,028,172
セグメント負債	6,074,679	277,027	195,744	6,547,452
その他の項目				
減価償却費	241,574	42,961	13,742	298,278
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	25,688	6,636	2,009	34,335

(株)ナンシン (7399) 平成25年3月期 決算短信

報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

売上高	金額
報告セグメント計	10,408,051
セグメント間取引消去	△ 2,302,649
連結財務諸表の売上高	8,105,401

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,212,843
セグメント間取引消去	2,343
連結財務諸表の営業利益	1,215,186

(単位：千円)

資産	金額
報告セグメント計	13,028,172
全社資産又は消去	△ 779,316
連結財務諸表の資産合計	12,248,855

(単位：千円)

負債	金額
報告セグメント計	6,547,452
全社負債又は消去	△ 739,119
連結財務諸表の負債合計	5,808,332

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計	調整額	連結財務諸表計上額
減価償却費	298,278	—	298,278
形固定資産の増加額	34,335	—	34,335

(株)ナンシン (7399) 平成25年3月期 決算短信

当期連結会計年度(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	マレーシア	中国	
売上高				
外部顧客への売上高	7,844,852	105,794	396,777	8,347,424
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,487	1,773,303	851,866	2,631,657
計	7,851,340	1,879,097	1,248,644	10,979,081
セグメント利益	709,929	198,781	87,821	996,532
セグメント資産	10,449,843	1,890,511	594,514	12,934,870
セグメント負債	5,384,855	326,535	221,710	5,933,101
その他の項目				
減価償却費	245,906	34,227	14,307	294,442
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	73,848	10,722	11,041	95,611

報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

売上高	金額
報告セグメント計	10,979,081
セグメント間取引消去	△ 2,631,657
連結財務諸表の売上高	8,347,424

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	996,532
セグメント間取引消去	△ 12,819
連結財務諸表の営業利益	983,712

(単位：千円)

資産	金額
報告セグメント計	12,934,870
全社資産又は消去	△ 465,667
連結財務諸表の資産合計	12,469,202

(単位：千円)

負債	金額
報告セグメント計	5,933,101
全社負債又は消去	△ 601,536
連結財務諸表の負債合計	5,331,565

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計	調整額	連結財務諸表計上額
減価償却費	294,442	—	294,442
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	95,611	—	95,611

【関連情報】

前連結会計年度(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	キャスター-事業	その他事業	合計
外部顧客への売上高	5,648,039	2,457,362	8,105,401

(注)各区分に属する主要な製品の内容は以下のとおりです。

キャスター事業：キャスター

その他の事業：台車、ロールボックスパレット、店舗用品、医療用樹脂部品

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の90%を超えるために、記載は省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
パラマウントベッド(株)	1,090,690	日本

4. 報告セグメントごとの固定資産減損損失に関する情報

前連結会計年度(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)

該当事項はありません。

5. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

前連結会計年度(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)

該当事項はありません。

6. 報告セグメントごとの負のれんの発生益に関する情報

前連結会計年度(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)

該当事項はありません。

(株)ナンシン (7399) 平成25年3月期 決算短信

当連結会計年度(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	キャスター事業	その他事業	合計
外部顧客への売上高	5,550,904	2,796,519	8,347,424

(注)各区分に属する主要な製品の内容は以下のとおりです。

キャスター事業：キャスター

その他の事業：台車、ロールボックスパレット、店舗用品、医療用樹脂部品

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の90%を超えるために、記載は省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
パラマウントベッド(株)	1,146,308	日本

4. 報告セグメントごとの固定資産減損損失に関する情報

当連結会計年度(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)

該当事項はありません。

5. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

当連結会計年度(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)

該当事項はありません。

6. 報告セグメントごとの負のれんの発生益に関する情報

当連結会計年度(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)

該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

前連結会計年度 (自 平成 23 年 4 月 1 日 至 平成 24 年 3 月 31 日)		当連結会計年度 (自 平成 24 年 4 月 1 日 至 平成 25 年 3 月 31 日)	
1株当たり純資産額	839円46銭	1株当たり純資産額	930円55銭
1株当たり当期純利益金額	151円05銭	1株当たり当期純利益金額	88円55銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額につきましては、潜在株式が存在しないために記載しておりません。		同左	

(注) 算定上の基礎

1. 1株当たり純資産額

項 目	前連結会計年度 (平成 24 年 3 月 31 日)	当連結会計年度 (平成 25 年 3 月 31 日)
連結貸借対照表の純資産の部の合計額(千円)	6,440,522	7,137,637
普通株式に係る純資産額(千円)	6,440,522	7,137,637
差額の主な内訳(千円)	—	—
普通株式の発行済株式数(株)	7,708,000	7,708,000
普通株式の自己株式数(株)	35,740	37,640
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(株)	7,672,260	7,670,360

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益

項 目	前連結会計年度 (自 平成 23 年 4 月 1 日 至 平成 24 年 3 月 31 日)	当連結会計年度 (自 平成 24 年 4 月 1 日 至 平成 25 年 3 月 31 日)
連結損益計算書上の当期純利益(千円)	1,158,933	679,269
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	1,158,933	679,269
普通株式の期中平均株式数(株)	7,672,547	7,671,429
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

前連結会計年度(自 平成 23 年 4 月 1 日 至 平成 24 年 3 月 31 日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 平成 24 年 4 月 1 日 至 平成 25 年 3 月 31 日)

該当事項はありません。

5. その他

(1) 役員の異動

①代表者の異動

該当事項はありません。

②その他の役員の異動

新任監査役候補

(常勤) 監査役 大久保 浩司 (現取締役管理本部長)

退任予定取締役

取締役管理本部長 大久保 浩司

③就任予定

平成 25 年 6 月 27 日

(2) その他

該当事項はありません。